

松下大二郎 まつした だいじろう 國語學者、歌人、文學博士。明治十一年九月、二十四日靜岡縣磐田郡野部村生れ、昭和十年五月、一日歿（二七八一—一九五五）。號曲水、花夕。明治二十一年國學院第1期卒。二十七年歌人丸岡桂の始のいば板倉屋書房から『國文大觀』、『國歌大觀』を丸岡と共に編出版した。昭和七年日本文法の研究により學位を得る。著書に『日本俗語文典』、『標準日本文法』、『標準漢文法』、『標準口語法』等。妻鶴は丸岡の妹で亦歌人（明治十一年十一月、二十四日生れ、筆名岩淵のち子）。母校の國學院大學教授を務めた。

學生時代の歌文集『長風萬里』（松下曲水名、宮木花城・栗島次衣合著、明治二十五年十一月、二十一日水野書店）がある。盛沢重義著『國語松下大二郎博士伝』（昭和二十六年十一月、二十日靜岡・美哉堂書店）刊。

